

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越谷西高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、「進学に強く、部活動に強い越西の実現」という部分に反映させるなど、生徒・保護者・地域などの期待に十分応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。生徒の実態など学校の状況を踏まえ、中期的な視点から、更に検討・整理を進めるとともに、次のステップに向けて具体的かつチャレンジングな目標を設定することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校自己評価システムを運営する組織が明確に位置付けられている。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるように整合性を持たせ、より重点化して具体性のあるものにしていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	朝読書・朝テストなど生徒の自主的な学習習慣の確立に向けた方策が実施され、成果も上がっている。評価指標については、方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないため、取組指標と成果指標をうまく組み合わせ、その達成イメージを共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	教職員一人一人の能力を生かして組織力を高めようとしている校長の意欲が感じられる。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析して、達成状況や課題を把握し、次年度の課題・改善策として適切に引き継ぎ、より具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			